

祭事暦

1月1日 零時 八方除祭  
 引き続き 元旦祈禱祭  
 午前6時 八歳旦祭  
 引き続き 末社歳旦祭  
 1月2日 午後8時 元追儺祭  
 1月3日 午前8時 元始祭  
 1月8日 午前10時 元武佐弓祭  
 1月20日 午前8時30分 元月次祭

# 相模

発行所  
寒川神社社務所

〒253-0195  
神奈川県  
高座郡寒川町宮山3916  
電話 代表0467(75)0004

編集者 水谷智賢  
責任者  
印刷所 樹さんこうどう



## 鎮守の森

皇紀二六七一年・平成二十三年の新玉の年を迎え、益々御健勝の御事とお慶び申し上げます。新年を迎え、一年の計は元旦にあり」と云う言葉をよく耳にする。昨年を振り返り、今年こそは！と飛躍・希望に満ちた目標をたてるのが、物事を始めるにあたり、まず計画を立てることが成功へと導き、最初が肝心であるという喩えがある。

一日之計在晨（一日の計は晨にあり）  
 一年之計在春（一年の計は春にあり）  
 一生之計在勤（一生の計は勤にあり）  
 一家之計在身（一家の計は身にあり）

これは中国「明」の時代に馮應京が編纂し、季節ごとの・政・行事や儀式などを解説した『月令広義』の一節で、「四計」に由来するものである。「四計」とは「一日」「一年」「一生」「一家」の計（はかりごと）のことであり、晨はあしたと読み朝と云う意味で、春は中国では正月を意味し、転じて元旦となった。朝でその日が決まり、年の初めの決意で一年が決まり、人生は努力・勤勉さで決まり、一家の将来はその身の振り方や生き方で決まるのである。さて、今年の干支は卯。「因幡の白兔」「兎と亀」「かちかち山」などでは狡猾に描かれているうさぎだが、疲れ果てて食べ物を乞う老人に自ら火の中に飛び込み自分の身を老人に捧げたと云う「月うさぎ伝説」に見られるように、自分の身も省みず人の為に尽くす慈悲行は、現代社会に於いて一番不可欠な事ではないか。「一年の計は元旦にあり」年頭に卯年に相応しい、清らかで献身的な思いやりの心を常に持つことを目標とし、日々実践していきたい。（坂）



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

# 平成二十三年 年頭のご挨拶

宮司 利根 康 教



## 新年明けまして おめでとうございます

新春にあたり、謹んで御皇室の弥栄を  
言祝ぎまつり、国家の安泰、氏子崇敬者  
皆様方のご隆昌とご多幸を衷心よりお祈  
り申し上げます。

天皇皇后両陛下におかせられましては、  
昨年五月二十三日、第六十一回全国植樹  
祭が神奈川県にて開催され、御臨席のた  
め行幸啓遊ばされましたが、県内四神社  
に対しての整饯料御下賜伝達式が箱根に  
て行われ、参向の後拝領し、寒川神社御  
本殿へ奉安いたしました。洵に慶賀この  
上もない御事でありました。

両陛下には愈々お健やかに過ごしてい  
ただき、御皇室の御安泰、平成の御代が  
未永くますます栄えますことを心より御  
祈念申し上げます。

さて、昨年は寒川神社におきまして、  
建立後四十年が経過して老朽化が進んで  
いました二の鳥居の改修を、鳥居の補強



元旦祈禱祭を齋行し、午前六時の歳旦祭  
にて御皇室の弥栄と年頭の感謝を捧げ、  
日本國の隆昌を祈念いたしました。

平成二十三年は皇紀二、六七一年にあ  
たり干支・九星では辛卯（かのと）七  
赤金星（しちせきぎんせい）が中宮の年  
になります。辛卯は干支の二十八番目  
つまり、十干は辛（かのと、しん）、十  
二支は卯（う、ぼう）です。辛は陰陽五  
行説の金性の陰に属し、辛苦、辛酸など  
厳しい状況下で使われる文字の代表的な  
存在となっていますが「かのと」は（金  
の弟）といわれており、音の「シン」が

「新」につながることから、植物が枯れ  
て新しい世代が生まれようとする状態も  
意味しています。一方、十二支の卯は、  
音から兔（うさぎ）が充てられています  
が、本来は「茂」（ぼう・しげるの意味）  
や「冒」（ぼう・覆うの意味）で、草木  
が茂り、地面を覆うようになった状態を  
表しています。したがって辛卯は、辛  
酸など厳しい状況下を克服できれば、植  
物が新たに芽吹き、大きく成長して、繁  
茂するが如く、非常に縁起のいい組み合  
わせと解釈されます。実際に過去を振り  
返ってみますと、卯年には「最初の」

や「第一回」が多いようです。たと  
えば、二十世紀に入って最初の卯年、一  
九〇三年（明治三十六年）には、日本で最  
初の都市型洋式庭園、日比谷公園が開園  
し、第一回早慶戦も開かれています。日  
本で最初の地下鉄開通（一九一七年）、  
第一回NHK紅白歌合戦開催（一九五二  
年）、日本で最初の高速度道路開通（一九  
六三年）と卯年の出来事は枚挙にいとま  
がありません。

氏子崇敬者の皆様方にとりまして、飛  
躍の卯年となりますよう心より祈念申し  
上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

明治天皇御製  
あらたまの 年をむかへて 諸人と  
ともにぞいはふ 千代のことのは  
相模國一之宮寒川神社は、寒川大明神  
の広大無辺な御神徳著しく、閑八州方除  
け総鎮護 唯一無二の八方除守護神とし  
て地相・家相・方位・日柄等に由来する  
すべての悪事災難を払い除く御靈験はあ  
らたかだ、古来より全国の方々に崇敬さ  
れております。  
本年も元旦零時の八方除祭に引き続き

# 頌 春

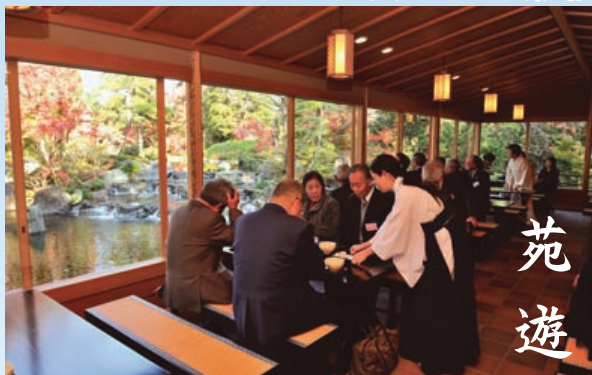
宗教法人寒川神社



責任役員	横溝 隆義	市川 元久
顧問	大川 静男	関根 晃
参	藤沢 賢一	伊藤 留治
	小林 亮	山田 文夫
	飯田 誠	山本 康明
	河西 大吉	山上 貞夫
	青木 治三	高橋 春吉
副総代長	金子 純男	
総代長	杉山 英昭	
総	福岡 英之	矢野 宣雄
	毛藤 素光	石田 清
	高橋 勇	根岸 功
	吉川日出雄	大鷲 靖幸
	皆川 米男	高橋 恵一
	福岡 真	山岸 俊夫
	星 禎久	細川 英夫
	濱田 敏美	



去る、十二月六日(月)  
一昨年八月に開苑した神嶽  
山神苑に於いて、永年に亘



# 苑遊

# 会開催

り当神社の護持運営に  
ご尽力頂きました方々  
をお招きし、苑遊会が  
開かれました。

当日は、百名程の方  
が来社され、午前十時  
三十分、御本殿にて正  
式参拝をされた後、神  
苑へ移動し、雅楽の調  
べの中、本格的な茶室  
である「直心庵」や  
「和楽亭」にて抹茶を  
拝服、石舞台にて奉納  
される神楽を眺めなが  
ら紅葉の美しい庭園散策さ  
れるなど、和やかなひと時  
をお過ごし頂きました。



# 天皇祭斎行

## 記念講演行われる

十二月二十三日、天皇陛  
下におかれましては、満七  
十七歳の御誕生日を迎えら  
れました。

この慶事を寿ぎ、また陛  
下の御長寿と皇室の弥栄、  
国家の繁栄、氏子崇敬者の  
隆昌を祈念する天皇祭が  
寒川神社におきましても齋  
行され、参列者は真心を込  
めて玉串を捧げられました。

終了後は、茅ヶ崎警察署  
長保坂都彦氏を講師にお招



# 今日の祭事

## 八方除祭 元旦祈禱祭 歳旦祭

一月一日(土)

午前零時、新年の幕開け  
を告げる大太鼓が境内に鳴  
り響く中、八方除の御神威  
の更なる発揚を願う「八方  
除祭」が行われます。続い  
て「元旦祈禱祭」、同六時  
には「歳旦祭」が斎行され  
ます。

## 追儺祭

一月二日(日)

午後八時、邪気災厄を被  
い除く「追儺祭」が、境内  
の灯火を消した浄闇の中で  
執行されます。

祭典終了後には、御神前  
に備えられた弓矢が魔除け  
のお守りとして、御参集の  
皆様に配られます。

## 元始祭

一月三日(月)

年の初めにあたり、皇位  
の大本と由来を祝した祭典

## 武佐弓祭

一月八日(土)

午前十時、本殿での祭典  
の後、内庭齋場に設けられ  
た古式の的に、禰宜二名が  
交互に三度矢を射り、その  
当り具合にて今年の吉凶が  
占われます。



が宮中で行われます。  
当神社におきましても午  
前八時、この祭典にあわせ  
元始祭を執り行い、皇室の  
元始をしのび、皇室の弥栄  
と国家国民の繁栄をお祈り  
いたします。

きし、「治安からみた世相」  
との演題にて記念講演が開  
かれ、ご臨席の皆様は熱心  
に聞き入っております。

### 境内整備事業

## 「太鼓橋改築」ご奉賛のお願い

この度、寒川神社では、老朽化した太鼓橋を改築し、区域内での安全な参拝路を確保すべく、鎮守の森の整備工事を計画しております。

就きましては、日頃ご信仰篤い皆様方のご賛同を仰ぎ、この事業が滞りなく完遂できますようご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



### 御案内

- ◆事業名  
境内整備事業  
「太鼓橋改築」
- ◆奉賛金  
一口 一万円以上
- ◆申込方法  
御来社頂く他、現金書留での申し込みも承ります。
- ◆お問合せ先  
寒川神社社務所総務課  
電話 〇四六七五〇〇〇四

御本殿御造営竣工十周年記念事業

### 御本殿周辺整備事業奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。  
誌上より厚く御礼申し上げます。

- 【平成二十二年十一月奉賛者】（順不同・敬称略）
- 五万円 西島 潔 東京都港区
  - 二万円 (株)フィルツ都市建築設計 東京都町田市
  - 坂田 潔 相模原市南区
  - 小林 茂雄 静岡県富士宮市

### 神奈川県神社庁相模湘南支部

## 高座氏子総代会設立

相模中央氏子総代会解散に伴い、今度新たに旧高座郡南部地区に鎮座する神社の氏子からなる高座氏子総代会が設立される事となり、その設立総会が去る十一月二十四日、寒川神社参集殿に於いて行われました。

総会では、規約、役員選出、会務計画、予算等が慎重に審議され、満場一致で承認されました。



## ホームページリニューアルされる

平成十二年十月に開設され、大勢の方々に御利用頂いてきましたホームページですが、十年が経ち利用しづらい箇所も出て参りました。

そこで、利用しやすい様今回ホームページをリニューアル致しました。  
女性のカメラマンを採用し、感性豊かな写真も掲載しております。  
多数のアクセスをお待ちしております。



## 節分祭

豆撒き神事奉仕の御案内

新春を迎え、一年間の邪気災厄を祓う節分祭（豆撒き神事）を二月三日（木）午前十一時と午後二時に行います。  
尚、豆撒き神事を奉仕する年男・年女を左記により募集いたします。



- ◆奉仕日時  
平成二十三年二月三日（木）  
午前十一時：寒川町内の方  
午後二時：寒川町外の方
- ◆初穂料 金壹万円也
- ◆申し込み受付  
平成二十三年一月二十五日迄



連載

# 遷宮講座



國學院大學  
神道文化学部教授  
神道学博士  
なかにし まさゆき  
中西正幸

## 第二十一回 蒼古の秘儀

### 一、遷御前の清め

式年の十月一日、新たに調進された御装束・神宝が、御垣内の四丈殿において員数が読合される。古代の儀式帳によれば「神宝使」という御使が派遣され、慶長以来、御料の荷駄到来につれて、古式ゆかしく進献されたという。御衣や御被などの御装束、紡績具や武器器具などの神宝を四丈殿に運びこみ、造宮庁の総長（少宮司）から祭主に進められた式目を披見した後、権禰宜が木尺で違いがないか検査する。終われば辛櫃に納めて、川原大祓所に移しておく。

夕刻、川原大祓として、内宮が西河原、外宮が中御池畔の三ツ石において、数多い辛櫃をはじめ祭主以下の神職を被い清める。「神宝使」にあたる勅使随員、遷御に奉仕する神職がうち揃い、端正な装束姿に威儀を正してお被いを受けたという。この儀式から神職は、宮司・禰宜

が束帯、権禰宜以下が衣冠を著するのである。

### 二、神秘の一瞬

遷御とは、神霊が本宮から新宮へとお遷りになり、遷宮祭において至高の儀式である。平成五年は天皇陛下が十月二日に内宮（外宮は五日）午後八時と御治定になられ、奉遷使にあたる勅使として小出英忠掌典長、皇族代表として秋篠宮殿下を差遣された。

遷御当日の黄昏、全国から四千名におよぶ奉拝者が、参道沿いの座席につき、衣冠をつけた供奉者以下が所定の席につく。午後六時に勅使・随員、さらに祭主以下の百数十人におよぶ奉仕員が肅然と正宮へと参進した。



内宮遷御図（両宮遷宮旧式祭典図）

まず正宮階下において、勅使が祭文を奏上し、大少宮司が御扉を開き、権禰宜が召立文を読み上げる。召立にしたがい諸員が御装束神宝を捧げて御列を整えて、正八



外宮遷御図（両宮遷宮旧式祭典図）

を三声ながく唱え、次いで勅使が「出御」と三声奏上なさる。そして宮司・禰宜に奉戴された神儀が、純白の絹垣・行障に秘められて、正宮をお出ましになる。雅やかな道楽の調べにつれて、前陣・後陣が進みゆき、奉拝席に拍手が沸き起こるなか、瑞々しい新殿にめでたく入御せられた。  
ふたたび召立にしたがい、前陣・後陣の神宝を殿内に奉納し、大少宮司が御扉を閉じまつる。勅使が階下にて祭文を「常の例の随に御殿に二十年に一度、新しく造仕奉れるに依りて、遷御の神事仕奉りき」と奏上し、諸員が中重に退いて八度拜を済ませると、ここに遷御の儀が滞りなく終るのである。

時という厳かな出御の時刻を待つ。灯火がかき消された浄蘭のしじま、宮掌が天岩戸びらきの故事をなぞり、カケコー・カケコー・カケコー（外宮はカケロ）と鶏鳴



# 寒川病院だより

☎0467(75)6680 寒川町宮山193  
http://www.samukawabyouin.com (ホームページが新しくなりました。)



## 加藤幸弘理学療法士よりのご挨拶

(宗)寒川神社 寒川病院 理学療法士 加藤 幸弘

私は理学療法士の養成学校を卒業後、神奈川県立の総合病院に7年間勤務し、平成11年に寒川病院に初めての理学療法士として移ってきました。早いもので10年以上が経過しました。当初は色々大変でしたが、現在ではスタッフも増えて充実したりハビリを提供できるようになりました。

ご存知かもしれませんが、リハビリとは病気やケガなどで生じた障害を温熱や電気などを併用しながら関節運動の改善、筋力強化、協調性の練習、動作の練習などを行うことによって最大限に機能を発揮し生活をしていくことです。それぞれの方々に沿った治療を行って満足した生活が送れるようにお手伝いをさせていただくのが私たちの仕事になります。

入院患者様では、整形外科のスポーツ外傷、骨折など手術後早期からのリハビリ、内科では脳梗塞後の麻痺、臥床による体力低下、呼吸練習、食事練習などのリハビリ、外科の手術後のリハビリと幅広く行っています。あまり動けない方は病室に伺っています。また、自宅に退院する際に関連職種と一緒に自宅に訪問させていただきます。住宅改修や福祉用具の選択のアドバイスも行っています。

### 診療日

	月	火	水	木	金	土
午前						
午後						

: 一般 + スポーツリハビリ

外来患者様では、多くは整形外科疾患で退院後の継続リハビリ、肩痛や腰痛、膝痛の方、骨折後の方、スポーツ障害の方のリハビリが中心となっています。一部、小児疾患、脳梗塞後、神経難病の方も通院されています。よって当院のリハビリ科は4歳からの子供さんから小中学生や高校・大学のスポーツ選手、中高年、高齢の患者様までと何世代もの患者様が一緒になって賑やかにしています。

当院の整形外科では、スポーツで著名な先生と経験豊富な先生が居られ、リハビリを行う患者様が増えてきました。また、平成22年9月よりスポーツ整形診察日に合わせ、スポーツリハ外来を開設し、スポーツトレーナーと連携しながら行っています。

現在4名の優秀なスタッフで日々研鑽し質の高いリハビリを提供していく努力をしています。2階にリハビリ室があり、景色は最高です。リハビリは医師の指示が必要です。医師に相談の上、お越しく下さい。



左から一人目が加藤先生

## 医療講演会のご案内

とき 1月26日(水)  
午後2時～3時

ところ 寒川神社 参集殿

内容 「骨と関節の痛みについて」

講師 整形外科  
リハビリテーション科医長  
真鍋 卓容

入場無料 申込不要  
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680  
寒川病院

## 伊勢神宮・多賀大社 参拝旅行のお知らせ

◎期 日：平成23年3月6日(日)～3月8日(火)  
◎募集人員：120名 (定員になり次第締め切ります。) バス3台  
◎参加費：45,000円 交通費・宿泊代・食事代・傷害保険料  
伊勢神宮御神楽料・御神酒拝観等一切を含みます。

日次	月日(曜)	行 程	宿泊地
1	3/6 (日)	8:30出発 各地より→寒川神社→浜松市内(昼食)→ 17:10頃到着 伊勢神宮外宮(自由参拝)→鳥羽【宿泊】	鳥羽 シーサイド ホテル
2	3/7 (月)	7:30出発 鳥羽→伊勢神宮【正式参拝】おかげ横丁(買物) 17:40頃到着 おごと温泉【宿泊】	びわこ 緑水亭
3	3/8 (火)	9:00 おごと温泉→琵琶湖大橋→びわ湖船家の里(買物) 19:00頃到着 近江八幡(散策)→彦根(昼食)→寒川神社・各地へ	

◎お申込み・お問合わせは 寒川神社 0467(75)0004へ

## 人 事

◆退職  
△神恵苑▽

介護福祉士 安田 敦子  
" 緑川 由美  
願いに依り職を免ずる  
平成二十二年十二月三十一日

冬川俳壇

湯治場の下は旧道花八ツ手  
 枯菊のほひ散らして焚かれけり  
 竹林の葉ずれを急ぐしぐれかな  
 つぼみとも花とも仰ぐ枇杷の花  
 縄なわ暖ぬる簾のり汚れの目立つ十二月  
 捨て猫の野性に馴れず時雨けり  
 あらかたは昨日の風の落葉かな  
 おでん酒おんいつも同じ唄うたが出る  
 懐に日だまりを抱き山眠る  
 犬つれて犬の冬服買ひに行く  
 年の瀬や買ひ手のつきし古ヒアノ  
 大まかは田舎育ちがおでん鍋  
 バス停は海岸通り冬帽子  
 午後三時落葉ばかりの無人駅  
 口ほどに動かぬ手足十二月  
 見た目にも痘痕あざの冬至南瓜かな  
 観音の鈍き光りや初時雨  
 揺れながら日射しの中の浮寝鳥  
 青空も見える予報や朝時雨  
 落葉踏み忘れてしまつことにせり  
 境内の玉砂利直す十二月

四ツ車梢月 倉谷 節子  
 相原 白蔭  
 芹沢 徳光  
 菅沼つめの  
 金指 月光  
 竹村真砂美  
 露木てる子  
 飛石 樺花  
 伊藤 公一  
 根岸 君子  
 宮入 つる  
 山本 朝子  
 松本美智子  
 金子 つぢ  
 岡田風呂釜  
 市本 益子  
 千葉 静香  
 原野 楽天  
 岩田美代子  
 菅沼 保幸

一月 手水舎奉掲

昭和天皇御製

ささしのぼる朝日の光へだてなく  
世を照らさむぞわがねがひなる

相模詠草

黄金なす稲田のまわり囲むよに赤くもえたつ彼岸花咲く  
 町の木の金木犀の咲き初めてただよ香りに秋を知らさる  
 引揚げ船共に乗りたる友けりお互い八十路すぎていたりし  
 土と汗にまみれて農に生き来しを心にたたみ老人おいの黙せる  
 庭の花にきれいな姿来年も見せてねといひ夏を見送る  
 栗は稔り柿色づけるわが庭の秋のめぐみぞ心充たさる  
 しつとりと打水されし庭の石茶事の招きの吾につれしき  
 秋空を染めしコスモス多けれど老母ははと見た花今だ探せぬ  
 木犀の香り清しい秋の日に同世代生きし嫁の父逝く  
 今朝逝くと友の夫より電話あり予期はしつつも受け容れ難し  
 虫の音にそつと近づく庭すみ耳をすまして秋を楽しむ  
 その昔かみの美男女等の唄う窓秋日やさしくのぞきこむなり  
 やわらげる詩歌の教えおぼえたるほどよく整つ心の通いに  
 消防の操法大会きびきびと女孫は放水の筒先を持つ  
 限られし時を香にたつ月下美人窓辺の月と吾おの見守れる  
 亡き姉の好み湯呑の六地藏ほほえみかけてもの言いたげに

天利 春枝  
 岡元 芳子  
 出町 安子  
 宇田川時子  
 土屋トミ子  
 三留とく子  
 浜田 寿子  
 山口 幸子  
 山根喜美代  
 安藤 慧  
 川島恵美子  
 吉田マツ子  
 工藤 光子  
 龜山 文字  
 杉本 照世  
 瀧本三重子

表紙写真説明

干支ねぶたの設置、ねぶた囃子で最後の仕上げ！

編集後記

お粥と聞くと病人の食事と思われがちですが、元々

平成23辛卯年 厄年一覽表

性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄	性別	年齢 (かぞえ年)	前厄	本厄	後厄
男	25歳	昭和63年生	昭和62年生	昭和61年生	女	19歳	平成6年生	平成5年生	平成4年生
	42歳	昭和46年生	昭和45年生	昭和44年生		33歳	昭和55年生	昭和54年生	昭和53年生
	61歳	昭和27年生	昭和26年生	昭和25年生		37歳	昭和51年生	昭和50年生	昭和49年生

はハレの日に神様に供えた神聖な食べ物です。今年も七草粥を食べ、無病息災をお祈りしましょう。